

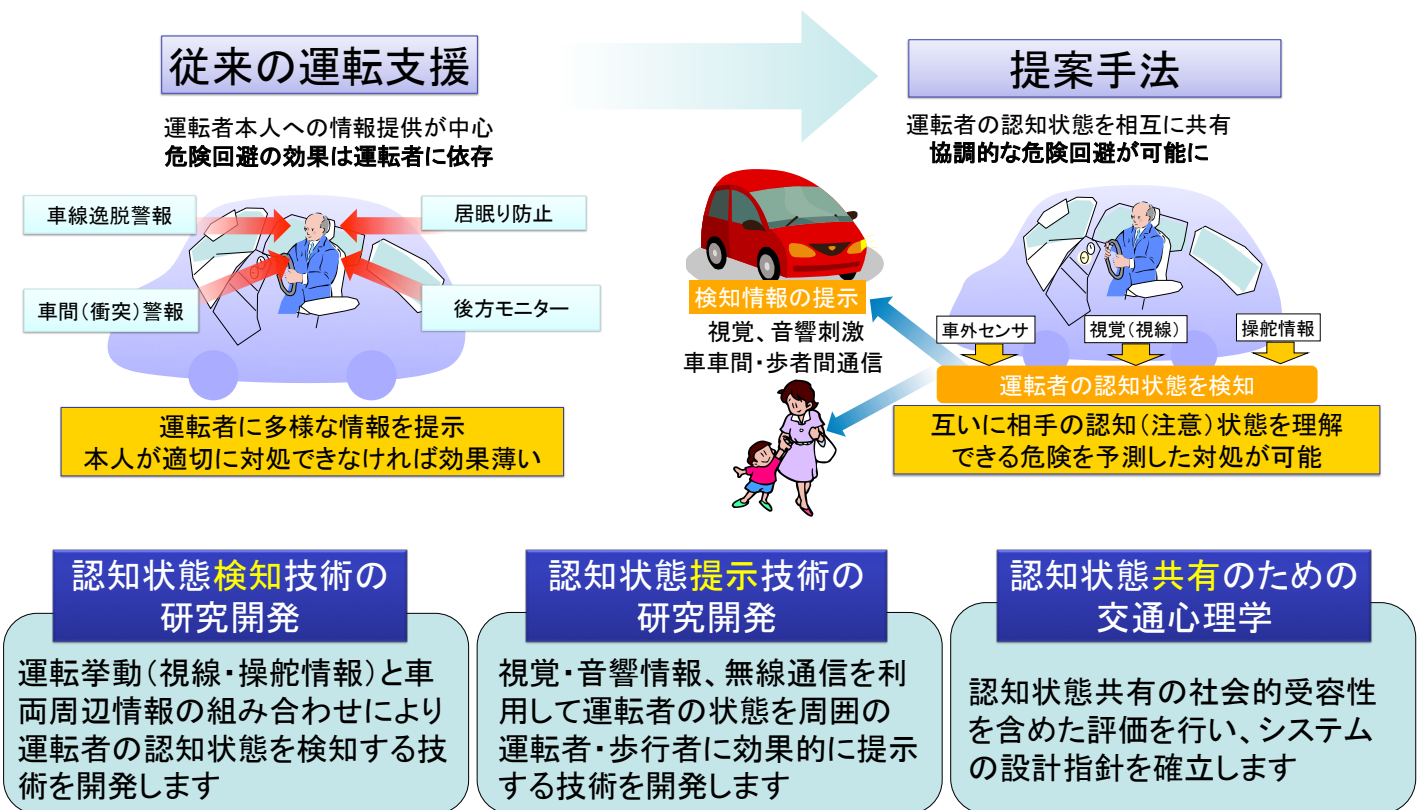
交通事故低減に向けた運転状態の見える化技術

●背景と目的

従来の運転支援システムは運転者本人の支援を目的としており、認知状態の低下した運転者には効果が期待できません。本プロジェクトでは、運転者の認知状態を周囲と共有することで事故の低減を図ります。

●特長

システムが運転者の認知状態を検知し、必要に応じて周囲の運転者・歩行者に提示します。



●今後の予定

運転者の認知状態を実時間で検知し周囲の車両・歩行者に提示する仕組みを実現し、「運転状態の見える化」による交通事故低減効果を確認します。

連絡先: 知能ロボティクス研究所 担当 内海 章、多田 昌裕、山本 直樹

E-Mail: {utsumi,mtada,yamamoto}@atr.jp

本研究は総務省の研究委託により九州大学・富士重工工業株式会社と共同で実施しています。